

平成 29 年 6 月 13 日

各高等学校長 殿

宮城県高等学校理科学研究会
会 長 齊 藤 繁
(宮城県泉松陵高等学校長)
(公 印 省 略)

平成 29 年度東北大学・カタールサイエンスキャンパス教育セミナー開催について(通知)

このことについて、別添のとおり国立大学法人東北大学大学院工学研究科長から案内がありましたので、関係職員に周知願います。

なお、申込に関しては、直接申込先へ手続き願います。

〔 ▶ 次のサイトからも申し込みできます。
http://qsc.eng.tohoku.ac.jp/jp/past_seminar.html 〕

事務局： 宮城県仙台第一高等学校

担当： 磯部 欣一

TEL: 022-257-4501, FAX: 022-257-4503

E-mail: science@sendai1.myswan.ne.jp

平成29年5月20日

宮城県各公立小中学校長様
宮城県立各支援学校長様
宮城県立高等学校長様
宮城教育大学附属小中学校長様
宮城教育大学附属支援学校長様
仙台市立小中高等学校長様
仙台市立青陵中等教育学校長様
仙台市立鶴谷特別支援学校長様
宮城県内私立小中高等学校長様

国立大学法人東北大学
大学院工学研究科長 滝澤博胤
(公印省略)

平成29年度東北大学・カタールサイエンスキャンパス教育セミナー開催について
(案内)

青葉若葉の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、『東北大学・カタールサイエンスキャンパス』プロジェクトについてご理解・ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、東北大学・カタールサイエンスキャンパスでは、今年度も宮城県内・仙台市内の教職員にご参加をいただき、教育課題や先端的研究について理解を深めていただく機会として下記のとおり教育セミナーを開催いたします。

つきましては貴職下教職員のご参加についてご高配を賜りますようご案内申し上げます。

記

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 主 催 | 東北大学大学院工学研究科・工学部 |
| | 共 催 | 日本機械学会生産加工工作機械部門 |
| 2 | 協 力 | 宮城県教育委員会・仙台市教育委員会 |
| 3 | 日 時 | 平成29年7月31日(月) 10:00~16:00 |
| 4 | 開 催 場 所 | 東北大学・カタールサイエンスキャンパスホール
東北大学青葉山キャンパス中央：仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号 |
| 5 | 内 容 | 9:30~ 受付
10:00~ セミナー開講式
・東北大学・QSCプロジェクト紹介
10:05~ 講演・質疑
・演題 『ICTを活用した学びのこれまでとこれから』
・講師 東北大学大学院教育情報学研究部准教授 佐藤克美 氏
11:50~ 昼食
13:00~ 実験・実習
・テーマ 『3Dプリンタを活かす教育の未来 ~デジタルファブリケーションを使った“ものづくり”体験~』
・講師 東北大学大学院工学研究科 准教授 水谷正義 氏
・講師 宮城教育大学教育学部 准教授 門田和雄 氏
16:00~ セミナー閉講式 |
| 6 | 対象・人数 | 小中高等学校教職員50名(先着順) |
| 7 | 申込み方法 | 7月14日(金)まで、ファックスで申し込みください。
または東北大学・カタールサイエンスキャンパスHPより申し込みください。
(http://qsc.eng.tohoku.ac.jp/jp/past_seminar.html) |
| 8 | そ の 他 | できるだけ地下鉄東西線(青葉山駅下車)を利用してください。 |
| 9 | 問い合わせ | 東北大学大学院工学研究科工学教育院 石垣
電話 022(795)5047 Email qsc@grp.tohoku.ac.jp |

国立大学法人東北大学
大学院工学研究科長 滝澤博胤 宛て

学校名

校長名



平成29年度 東北大学・カタールサイエンスキャンパス教育セミナー参加について
(申込み)

このことについて、下記の通り申込みいたします。

記

東北大学・カタールサイエンスキャンパス教育セミナー参加申込書			
FAX送付先：022(795)5824			
(ふりがな) 参加者名			
所属校名			
所属校電話番号			
メールアドレス			
担当学年		担当教科	
利用交通機関	地下鉄東西線 ・ 自家用車(運転) ・ 自家用車(相乗り)		
当日に質問したい 事項等があれば記 入してください。			

※ このA4サイズのまま、切り取らずに7月14日(金)までに送信してください。